

気がついてみると、もう2月です！
そこで良いはなしとすれば、梅が咲き始めましたね。
なんだかうれしいです！

ポーポキからの知らせ

・ポーポキのピース・ブック 2『ポーポキ、友情ってなに色？』の準備を進めています。3月中に出る予定です。皆さまにぜひ申し込んでいただき、広めていただきたいと思います。

詳しくは [popokipeace\(at\)gmail\(dot\)com](mailto:popokipeace(at)gmail(dot)com) へ

イラスト選び中の出版社エピックの香川直子さんとロニー →



ガザでは一応「停戦」となりましたが、問題解決への道はほど遠い。私たちにはなにができるでしょうか。どうして平和にならないのでしょうか。ポーポキと一緒に考えてみませんか？

ポーポキと一緒に平和をつくりだす集会：パレスチナ編

- ・ 日 時： 2. 12 (木) 18:30-20:30 神戸 YMCA 三宮会館 500 円
- ・ 申 込： 電話、又は、メールで、お申し込みください。
- ・ 主 催： ポーポキ・ピース・プロジェクト & 神戸YMCA
- ・ 内 容： ミニ・ワークショップ&映画「レインボー」上映
『レインボー』 監督：アブドゥッサラーム・シャハダ (2004/パレスチナ)

2004年5月のイスラエルによるガザ侵攻、占領下のパレスチナの人びとの生活と生命、その痛みや悲しみを描くドキュメンタリーです。芸術性の高さが評価され、2005年アース・ビジョン第14回地球環境映像祭でアース・ビジョン賞大賞を受賞しました。

お問い合わせ・お申し込み

神戸YMCA国際・奉仕センター (担当：永井)

〒655-0001 神戸市中央区加納町2-7-15

TEL (078) 241-7204

e-mail mnagai@kobeymca.or.jp



安齋育郎&ロニー・アレキサンダー “ピース・トーク” に参加して

さとこ



この日は、神戸では朝から大雪が降り、すわ雪の金閣寺！！と思いきや、京都は思いのほか暖かく、ピース・トークにふさわしいお日和でした。しかし、平和ミュージアムの一階に展示されていたガザの写真展は、外の穏やかな気候とは全くかけ離れたものでした。

ピース・トークの参加者には色々な方がいらっしゃいました。ミュージアムで解説ボランティアをしておられる方々、NGOとして何らかの平和活動

に関わっておられる方、戦争体験を小学校で講演して回っておられる方、平和研究者でアレキサンダー先生の友人のティナさんも参加されました。

二人のビッグな先生方の全く型にはまらない、360度全方向型の柔軟トーク（もちろん、そこにはポーポキも登場！）の後の会場からの質問も、ガザ関係の報道で初めて知ったことに関してや、報道と実際はどう違うのか。また日々の平和活動の中で生じた疑問等多岐にわたり、年齢も、性別も関係なくそれぞれが、それぞれのスタイルで平和について考える大切さを感じている間に、あっという間に時間が過ぎてしまいました。最後に、『ポーポキ、平和ってなに色』を11冊分の売り上げがあり、3月に出る予定の『ポーポキのピース・ブック2』の宣伝もちょうかり出来ました。

*この日はトーク以外にもポガやパフォーマンスなど、体を動かしながら「平和」を考える機会もありました。写真は、みなで体を使って「平和」を表現しているところです。



ピース・ウォーク in 三宮

浦井加奈

1月25日 KOBE ピース i ネットと神戸 YMCA が呼びかけ団体となって実施された、ピースウォーク～イスラエルはガザ市民を殺すな！～へポーポキメンバーも参加をしました。当日は約50名の方が参加をし、イスラエルへの抗議と日本政府への要請を求めてアピールしました。ウォーク出発前の集会では、エジプトとパレスチナ出身の日本の大学へ留学されている2名の方よりスピーチが行われ、過去のイスラエルの虐殺の歴史や、現在のガザのひどい状況を訴えて下さいました。ウォークはギター奏者の方を先頭にして、ジョン・レノンのイマジンなどを歌いながら、三宮センター街を歩きました。参加者はアピールのためのボードをもって歩いたので、通行人の人たちにもイスラエル抗議のウォークであることがわかったと思います。

現在、イスラエルによるパレスチナへの攻撃は一部を除き中断されています。その中断が、世界のあちこちで行われたであろうこのような市民による抗議によるものかどうかはわかりません。ですが、何もしなければそれは攻撃に YES と言っているのと同じです。色々な世界の状況には「自分が動いたって何も変わらない。」と考えてしまいがちですが、(少なくとも私はそう思うってしまう時があります。)たとえ小さくても、たとえそれが結果につながらないかもしれないけれども、声をあげること、行動にうつすこと、それはとても大切なことです。今回のウォークではそのエネルギーを参加したお一人お一人がもっておられたように思います。

集会でのスピーチでは、「イスラエルの攻撃はこれからも起こりうるだろう。」ということが話されていました。とても悲しく腹立たしいことですが、それがイスラエルとパレスチナの現状であることが、今回の攻撃が起こったことからわかりました。つまりそれは、「自分が動いても何も変わらない。」という諦めではなく、団結しあって意思を表していくことが今後必要であるということです。今回のウォークはそんな団結の力も感じる事ができたものでした。



タイとスリランカへ行ってきました・・・

同志社大学神学研究科 遠藤 浩

(前・神戸 YMCA 国際・奉仕センタースタッフ)



ご無沙汰しております。神戸 YMCA スタッフでありました折りには、皆さんにたいへんお世話になりながら、きちんとご挨拶もせぬまま姿を消したような状態で、失礼しており申し訳ございません。

私は昨年3月末をもって神戸 YMCA を退職し、現在は同志社大学神学研究科に籍を置いてしばし学びの季節を過ごさせていただいています。4月、「遊ぶがごとくに学びたい」と胸を躍らせて20数年ぶりに同志社の門をくぐりましたが、それなりに学びの厳しさに直面もし、浅学非才のわが身にくじけつつ、自らの行く末に不安を募らせつつ、しかしながらもっとも深いところではもっとも学びたかったことを学べている幸せをも、じんわりと味わっておるところです。週日は日本 YMCA 同盟のご厚意で京都大学のすぐ近くにある「日本 YMCA 同盟関西在住主事宅」(ヴォーリス建築で築95年!)というところに

住まわせていただき、自転車で12分の距離の同志社へ通っています。神戸と違って坂がないので楽ですよ。週末神戸に帰って神戸教会の礼拝に連なり、私事を済ませてまた京都に戻る、という生活パターンです。

さて今夏、同志社大神学部の原誠教授(学部長)が主宰する「タイスタディーツアー」に参加させていただきました。また勝手にも、ツアー終盤に一行から別れて、念願だったスリランカへ個人的にまいりました。タイでは、神学部らしくタイ社会にある多様な教会や神学校を訪ね、交流と学びの機会を与えられました。スリランカでは、スリランカ YMCA 同盟や2005年津波被災後に訪ねた東海岸のワラチャナイを再訪、旧交を温め、学び合いのときを得ました。

ポーポキと私の海外渡航と、何の関係が?とここまで読んでくださった方は疑問を覚えられると思います。それを以下、報告させていただきます。

タイは実は多民族国家です。マジョリティはタイ族ですが、とくに北部・東北部には多様な少数民族がモザイクのようにコミュニティを形成して生活されています。また近年は仕事や定年後の人生設計の理由等で、多くの日本人がバンコク、チェンマイを中心に生活されています。そうしたなかにもキリスト教信仰をもつ方々がおられ、日本人教会や少数民族の教会などがあって、私たちも8月31日にバンコク日本語教会、9月7日に山岳地方のカレン族の村にある教会で、日曜礼拝に参加させていただきました。



私は出発前から、日本語教会の大人の礼拝に先立つ子ども礼拝で、神学生として「説教」をおおせつかっており準備をして臨みました。準備の際に頭にあったのは、ポーポキから学んだ「平和の色」、そして双方向のワークショップの形式でした。なぜなら、私のなかではポーポキによる「平和」とは聖書でイエスが述べる「神の国」と同義であり、異文化・



バンコク日本語教会の子ども礼拝で

異 民

族に囲まれ、多文化・多民族社会でもあるタイのコミュニティで戸惑いや葛藤をもって生きているだろう日本人の子どもたちと、「色のちがいが」を通して「神の国」＝「平和」ってどんなんやろ？と一緒に考えたかったのです。

また、教会の説教は現在に到るも、ほとんどが講義や講演のような牧師や司祭から信徒へ向けての一方通行です。大人の礼拝では構成の都合上仕方のない面もあるが、子どもの礼拝にはもっと色んな可能性があるはずで、もっとチャレンジすべきだ、と思っていました。だから、子どもたちからのリアクションを受けて活かす、教会ではちょっと風変わりな「説教」をしよう、と意気込んで準備していったのです。

色紙を見せ、いろんな色がある、どの色が好き？と思い思いに答えてもらって、その色をどんどんホワイトボードに貼ってゆきました。モザイクのようになってゆきます。その上で「この色はダメ」と言ってみます。当然、文句が出ます。「じゃこの色は許そう、代わりにこの色はダメ」と言ってみます。また子どもたちから反論が出ます。やりとりのなかから、ダメな色はない！という意見が聞かれました。ここで事例として米国の黒人差別の歴史を簡単に紹介しながら、自分たちの周りにも「ちがう色」に対して似たことがないか考えてもらいました。聖書には「神の国は、あなたがたの間にあるのだ」というイエスの言葉が記録されており、その実現はほんとうのところ「私」と「あなた」、「私」と「隣の人」の「間」で一緒に創ってゆくしかない、みんなにかかっているんだよ、というようなことを述べて終わりました。「キリスト教」というものも、実はある「ひとつの色」に過ぎないのに「ほかの色」を駆逐して世界中に拡大してきた歴史を持っています。さすがに一回限りの子ども礼拝でそこまで語る力にはありませんでしたが、そうしたことで、いつか思いを到らせてほしいと願っています。

ポーポキを登場させられなかったのも私の力不足のゆえでしたが、私のなかではイエスとポーポキはしっかりつながっていました。幸い、子どもたちから「今日のお話しは楽しかった」、後ろで聞いておられたお母さんたちからは「子どもたちの、まさに現在の課題にフィットしていて、これから親子で一緒に話し合ったりしてゆきたい」などと、割と良い反応をいただけたのも、イエスとポーポキ、ふたりから与えられた示唆があったからだと感じています。





カレン族の村の教会で

タイで過ごした2週間、ほかにも少数民族の方々との出会いなどを通して「多様な色」ということへの学びを深められたのち、一人スリランカへ向かいました。

(続く)

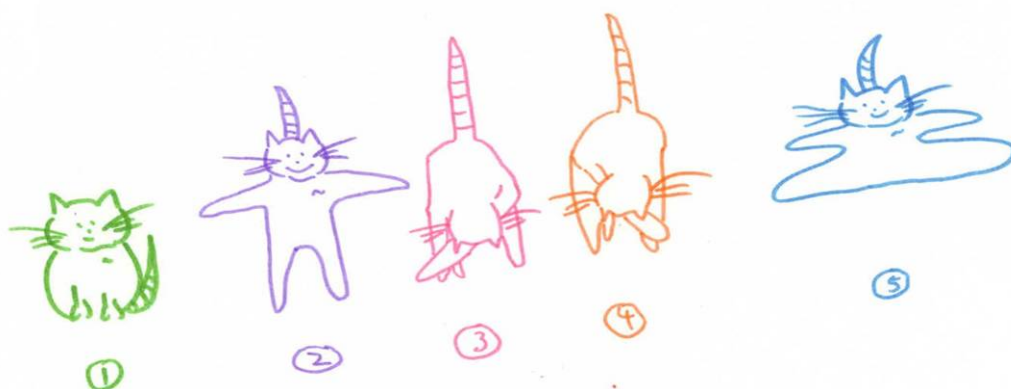
※時間切れです、すみません！スリランカ報告はまた書けたら送ります！

ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 9

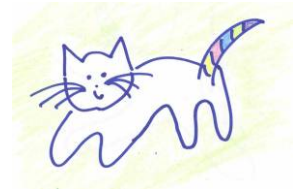
ポガの練習を毎日していますか？今日もポガでリラックスしましょう！

1. 背筋を伸ばし、自分を細く見せながらちゃんと座りましょう。
2. 立って、両手を広げましょう。尻尾はまっすぐ！笑いながら口もストレッチ！
3. では、左手を右の足首につけましょう。尻尾はまっすぐ伸ばすんだよ。
4. 今度は逆に、右手を左の足首に……。尻尾はまだまっすぐですね。
5. できました！では、デキタ・ポーズを！ お疲れ様です！！



第9回目のポガ・レッスンはこれで終わります。
おつかれさまです！毎日、最低3分間を練習しましょう。

一緒にいかが？



ポーポキが登場するイベントなど

- ・ **02.03** ポー会 神戸 YMCA 19:00-21:00
- ・ 09.02.07 “We Love Peace” 平和のための YMCA 子ども巡回絵画展・オープニング・イベント（中国の踊り、朝鮮の踊り、課雅美からの贈り物～YMCA4CDの歌、平和のワークショップなど）。15:00-16:30 頃 原田の森ギャラリー（兵庫県立美術館王子分館）問い合わせ：神戸YMCA国際・奉仕センター Tel: 078-241-7204（絵画展は2月7日—15日まで。無料。）
- ・ 09.02.12 「ポーポキと平和をつくりだす集会：パレスチナ編」 ミニ・ワークショップ & 映画「ザ・レインボー」 18:30-20:30 神戸YMCA 問い合わせ・申し込み：神戸YMCA 241-7204 ￥500
- ・ 09.02.28 “国際”の先にある世界と地域を考えよう！ 第3回目：「平和ってなに色？～ポーポキと一緒に世界を考える」 兵庫県青少年団体連絡協議会主催・学習会 13:00-16:00 神戸YMCA三宮会館 1階チャペル 申し込み等：ymatsuda@kobeymaca.or.jp 又は fax 079-559-0076（2/14まで）。

ポーポキinメディア

- ・ 「ポーポキ、ゴミってなに色？」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009. 1. 1 No. 592 p.2
- ・ ラジオ番組の中のポーポキ！！プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組をクリック。番組CHの6CHをクリック。
- ・ やさしいから人なんです展パート20 実行委員会『世界人権宣言』 ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。詳しくは：blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- ・ 「KFAWカレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」 エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8（アジア女性交流・研究フォーラム）
- ・ 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは？」 Kumamoto YMCA News 10 Vol.437 October 2008, p.1
- ・ 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」 2008.10.8. 10 面
- ・ “An Interview with Dr. Ronni Alexander.” *The Newpeople*, Pittsburgh’s Peace and Justice Newspaper, Vol.38 No.9, October 2008, p.5
- ・ “Nuclear Security is Inhuman Security – Dr. Ronni Alexander speaks about Hiroshima and Nagasaki.” *The Newpeople*, Pittsburgh’s Peace and Justice Newspaper, Vol.38 No.9, October 2008, p.4
- ・ ポーポキ in ピッツバーグ： Remembering Hiroshima/Imagining Peace URL: <http://www.rememberinghiroshima.org/>
- ・ 「社説 終戦の日」 神戸新聞 2008. 8. 15
- ・ 中国新聞「核廃絶への視点」 2008. 7. 27（核抑止論について・・・3時間！？！にわたる取材で一生懸命にポーポキのことを話したのに・・・。）
- ・ （社）ひょうご部落解放・人権研究所発行の機関誌『ひょうご部落解放』（2008. 6 月(夏)に「人権宣言 60 周年」のポーポキ・ポスターの一部も載っていますよ！
- * ポーポキ通信のバックナンバー：<http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>



私にとってのポーポキ



菊池真理



ポーポキと一緒に過ごしたあの夏を思い出します。アレキサンダー先生がご自宅に不在の数日間、私は、ポーポキと2人でお留守番役をしました。あれからもう6年。今では、ポーポキは、「平和」について人々と一緒に考え、語り合い、行動し続けています。

私はその間、留学先のロンドンではテロ事件(2005年)に遭遇し、仕事をしていたパキスタンでは、多くの人々が貧困、自然災害、テロで殺されていく現実を目の当たりにしました。そして、人間性に絶望し、無力感を感じていました。

すべての出会いにメッセージが含まれているとすれば、ポーポキとの出会いは私に何を伝えたかったのでしょうか。私はそこから何を学ぶべきなのでしょう。ポーポキは、きっと平和の運び手ではないか、そのためにこの世に生まれ、先生と出会い、そして多くの人々と出会い続けているのではないかと、思います。そして今、私は、平和に関する自分の信念に従って行動する勇気と希望を与えてもらうために、ポーポキと出会ったのではないだろうか、と考えています。

紛争や、暴力や、飢えが、人々の心を荒廃させ、相互信頼と平和への希望を失わせている現実の中で、「平和」について語り、行動し続けていくことは、あまりにもちっぽけなことに見えるかもしれません。しかし、私は、平和を求める「真の言葉」は、どの人間にも、動物にも通じると信じています。だから、ポーポキのように、平和のメッセンジャーとして行動していくことが、私の夢です。

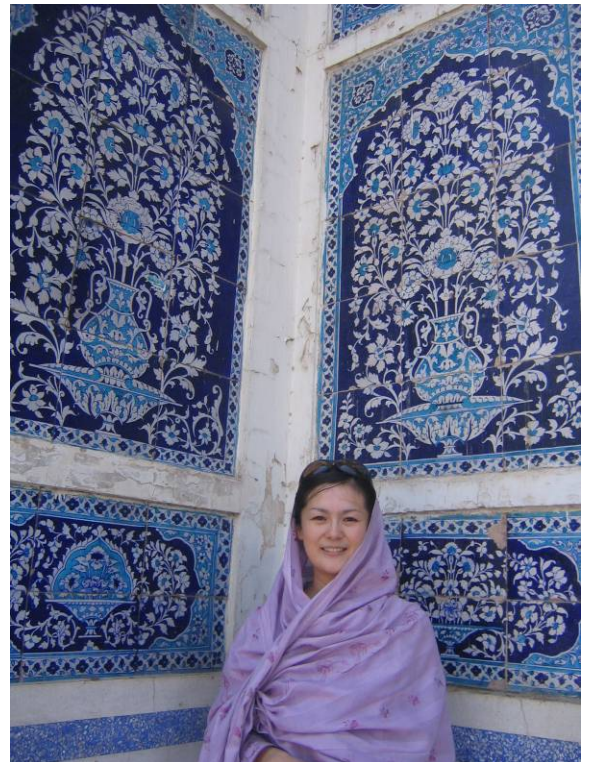
<私の好きな聖フランシスコ(1182~1226)の平和の祈りの言葉>

「主よ、あなたの平和を人びとにもたらす道具として、わたしをお使ってください。

憎しみのあるところには愛を、
不当な扱いのあるところにはゆるしを、
分裂のあるところには一致を、
疑惑のあるところには信仰を、
誤っているところには真理を、
絶望のあるところには希望を、
暗闇には光を、
悲しみのあるところには喜びをもっていくことができますように。

慰められることよりもめめるよりは慰めることを、
理解されることよりは理解することを、
愛されることよりは愛することを
求める心をお与えください。

わたしたちは自分に死ぬことによって自分を見出し、自分自身に死ぬことによって
永遠のいのちをいただくのですから。」



さらにご協力ください！



ポーポキ・ピース・プロジェクトにご参加のみなさま(ポーポキ平和基金に一口以上を振り込んでいただいたみなさま)には、本がすでにお手元にとどいていると思います。

これからはピース・ワークショップ、ピースキャンプ、翻訳、『ポーポキのピース・ブック1』などの活動を中心に行なう予定です。ご協力、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。『ポーポキ、平和ってなに色?』についてのコメント、感想、追加注文などについては、popokipeace@yahoo.co.jpにお問い合わせください。

本についての問い合わせや注文はお近くの書店あるいはエピック(TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918)へ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト popokipeace-at-gmail.com



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸



ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!